

ゆうゆうの日常

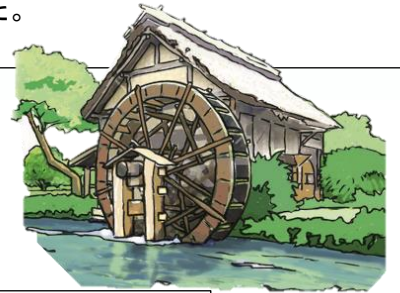
～11月だより～

令和7年12月1日

あき くだものが にほんいち おやこまごすいしゃ 秋の果物狩り & 日本一の親子孫水車

こんげつ
今月は、りんごとなしの2チームにわかれて果物狩りをしてきました！
くだものが むかうどうちゆう くるま なか おやこ み しゃない だいこうふん
果物狩りに向かう道中、車の中からサルの親子を見かけ、車内は大興奮。
こどもたちがちい ころ おも せばなし
子どもたちが小さな頃、サルとのトラブルがあった思い出話をしています。
なしは、とてもおおきくみずみずしいものが多く、なしを食べた子どもいわく「ジュースみたいだった」とのこと。
りんごは、こぶりでしたがとてもあま 美味しくかったです。りんごの木と一緒にカカオ？の み み つけました。(スマホで子どもたちと調べてわかりました。)

くだものが あと にほんいち おやこまごすいしゃ い
果物狩りの後は、日本一の親子孫水車へ行きました。
なまえ とお だいちゆうしょう すいしゃ いちばんおお すいしゃ あっかん
名前の通り、大中小の水車があり、一番大きな水車は圧巻でした。
こい およ いており、こどもたちとひ まる もよう のこい
鯉も泳いでおり、子どもたちと日の丸のような模様の鯉やハートマークの鯉を
み つけました。こどもたちがこい えさ おな かんこう こ
見つけました。子どもたちが鯉に餌をあげていると、同じく観光で来られていた
いっばん ちい きゃく こうりゆう
一般の小さなお客さんとも交流をしていました。



車内でのゲーム

さいきん はや しゅつだいしゃ たんご い
最近、ゆうゆうで流行りのゲームがあります。出題者がいくつかの単語を言って、
れんそう こと かんたん
連想されるものを答える簡単なゲームです。ある子に送迎車で暇になると、
せんせい もんだいだ よく い われます。こどもたちにテーマを決めてもらいます。
たいてい おお
(天抵、アニメになることが多いです。)
たとえば、てんき こども・〇〇 かんとく とうきょう
例えば、「天気・子ども・〇〇監督・東京」とアニメのタイトルにちなんだ
たんご いう いていき、アニメのタイトルをあてます。
おとな こ たの しぜん はなし はず こ
大人も子どもも楽しめるゲームで、自然と話も弾み、子どもたちにとって
しゃない たの じかん
車内でも楽しい時間となったようです。



ゆうゆうの療育

～11月だより～

～学校と職場の違い～(集団SST)

8月夏休みを利用して、集団SSTをしています。今回はその内容を少しご紹介します。

今回のSSTのテーマ：～学校と職場の違い～

子ども企画で進められている子どもカフェの目的の一つとして、「働く」を体験し、自分の将来を想う」にスポットを当ててSSTをしました。

集団SSTの流れ

- ① 学校と職場の目的を考える。
- ② 学校と職場の共通点を考える。
- ③ 学校と職場の違い。

今回は、2チームに分かれて集団で考えてもらいました。



① 学校と職場の目的

学校の目的・職場の目的を2チームに分かれて考えてもらいました。

目的を考えたら、前にあるホワイトボードに書き出し、職員が質問や意見を言ってゆきます。子どもたちには、目的を深堀することで学校と職場の共通点・違いを感じ・知ってもらいます。

子どもたちがそれぞれまとめてくれました。

○学校の目的

- ・義務教育
- ・勉強する
- ・コミュニケーション
- ・将来やりたい事を見つける。
- ・生活習慣
- ・社会に出たとき、有利になるため(資格取得も含む)
- ・身だしなみ
- ・協調性＝調和(人に合わせる)
- ・大人になる練習

・職場の目的

- ・社会を生きるため
- ・利益(会社・個人)→生活費を稼ぐ
- ・国の治安のため(警察官等)
- ・社会とのふれあい
- ・資格の取得(実務経験等)

※赤線は学校と職場の共通点。



① 学校と職場の目的

上記(黒板のイラスト)にまとめたようになります。

“学校”は、義務教育=守られた場所で学び、経験を積みます。その目的は、社会で生きていくため大人になる練習をしていくことが目的です。そのために勉強だけでなく、コミュニケーションや生活習慣・身だしなみ等を学びます。それだけでなく、将来を考えてゆくためにも学校に通い、多くの事を学び・経験してゆく必要があります。

“職場”は、学校で培ったスキルをもとに社会で生きていくため、生活をするためにお金を稼ぎます。しかし、お金だけが職場の目的ではなく、治安を守るためや社会とのふれあいをするためなど様々な目的があります。



② 学校と職場に違い

(子どもたちの意見)・責任の重さが違う。

- ・年齢。
- ・立場。(学校で例えると学校に通う生徒・学校が職場の先生)
- ・学び方の違い。(学校では教わる。職場では学び取る。)

(例えば)中学校に通う生徒と学校が職場の先生。

○立場・年齢

生徒：子ども(18歳まで)・教育を受ける権利を持つ・守られる立場

先生：大人(18歳以上)・子どもたちに教育を受けさせる義務がある・守る立場

○責任

生徒：ある程度守られた環境。周囲の大人が一緒に謝ってくれる。

先生：大人として社会人として自分で責任を取らなければならない。

○学び方の違い。

生徒：周囲の大人や先生から勉強やコミュニケーション等を教えてもらう。

先生：周囲の人たちの言動などから学び取っていく。

(丁寧に教育を受ける機会は、あまりない。)



学校は、子どもたちが社会で生きていくために必要なスキルを学び、経験を積み重ねていく場です。

それは、子どもの今しか学べない事でもあります。

子どもたちには、今しかできない・学べない・経験できない(失敗体験も含めて)ことを大切に

もらいたいと思います。

子どもたちが、大人になった時、その学びや経験が社会(職場等)で必ず自分や周囲の人のために役立つこともあるはずです。